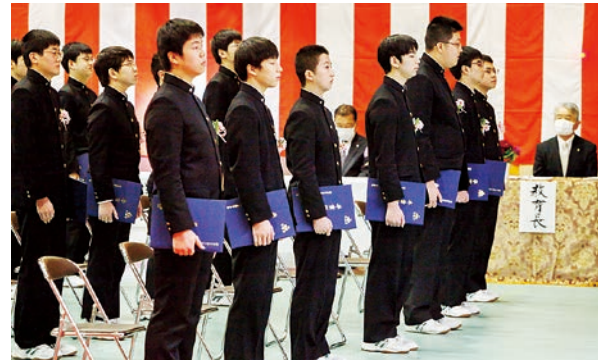


卒業式

小野中学校卒業式が3月12日に行われました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、体育館では卒業生とその保護者、教職員、来賓3人のみの参加となり、1・2年生はリモートによる教室での参観でした。金子伸之校長からは「困難な時にこそ、人間の本当の価値がわかると教えてくださった先生」のお話がありました。校長が小学生の時の自らの体験です。



式歌は、1曲だけマスクを外して「変わらないもの」を卒業生が歌いました。生徒の指揮、伴奏によるすばらしい歌声に、多くの保護者、教職員が感動の涙を流していました。臨時休校のほか、各種大会の中止などできなかったことが多く、本当はつらい思いや悔しい思いをしてきた3年生ですが、日々の生活態度は後輩を思いやる立派なものでした。「困難な時にこそ、人間の本当の価値がわかる。」まさに、それを自らの行動で示している小野中卒業生は小野町の誇りです。

ビブリオバトル

小野町オンライン・ミニ・ビブリオバトル大会が、3月17日に行われました。これは小野町地域おこし協力隊として3月まで活動された宍戸佳織里さんを中心に企画され、小野中学生、文教大学生がオススメ本を1人3分で紹介し、観覧・投票は地域の方々

にも参加いただく、ミニ・ビブリオバトル大会です。

昨年12月の予選会を勝ち抜いた小野中1学年の3人、文教大学平ゼミ代表3人による団体戦で、1回戦(先鋒)、2回戦(中堅)、3回戦(大将)を行い、チャンプ本(=参加者が読みたくなった本)を多く獲得した団体を優勝とするものです。結果は文教大平ゼミが優勝となりましたが、小野中学生も健闘しました。

各代表が、自分のオススメ本について根拠を明らかにしてしっかりと自分の意見を述べました。話す方も聞き手側も真剣に耳を傾ける姿に「自己表現力」「聴き合う大切さ」を感じました。小野中学校の新たな取り組みとして、地域の方々とともに継続、発展させていきたいと思えます。

